

ITの力で金融ビジネス 活性化に貢献

株式会社 電通国際情報サービス

iSiD
IT Solution Innovator

金融ソリューション事業部 金融事業戦略部長 飯田哲夫氏
同金融事業戦略部 プロジェクトディレクター 遠藤真司氏
同金融事業戦略部 小松千香氏
同市場系ソリューション3部 木村雅彦氏
(聞き手 MSOG編集部)



MSOG

今年のGMS2012には
リードスポンサーとして
2つの講演と展示をされま
すが、テーマと狙いは？

遠藤 「クリーンな市場を守るHFT/Algo世代のバックテスト」 と題して講演を行います。弊社では、監督当局や取引所のコンプライアンス順守チェックに対しFirst Derivatives社の製品を紹介し、本製品の導入経験をもとに、アルゴトレードやHFTに対する大容量データ、高速処理を監視側で活用する技術が、どのように有効に使えるかを検証します。

木村、遠藤 一方、「どうなる、どうする？ デリバティブ業務」と題する講演では、お客様と共に、どのようにデリバティブ業務を扱っていくべきかについて考えます。現在、金融機関におけるエクスポージャーのコントロールやリスク回避への迅速な対応が求められています。デリバティブ取引改革が進捗するなか、新規規制の金融機関への影響を考慮し、今後必要とされるリスク指標のリアルタイム算出や、担保管理の整備、CVAといった分野での調査・分析をご紹介します。

これら講演をふまえ、展示では、First Derivatives 社の「Delta Suite」とQuartet FS社の「Active Pivot」をご紹介します。前者は、次世代トレーディングをサポートする開発基盤上に、アルゴトレーディング、分析・モニタリング機能等を提供するソリューション群です。後者は、ビッグデータ、リアルタイム高速処理を行う多次元データ分析ツールとして、リスク分析が可能な環境を提供します。

MSOG

海外ソリューションの
位置づけは

飯田 世界経済の影響で金融ビジネスも伸び悩むなか、ITベンダーとしていかに金融市場拡大に貢献できるかに知恵を絞っています。弊社では、お客様がグローバルな共通化を実現できるのであれば、海外ソリューションも積極的に利用します。ただし、金融機関の規模の拡大に伴い、ソリューションをベースとして、個別開発と組み合わせることが一般的になってきているのが実情です。顧客ビジネス拡大のために必要な仕組みを一緒に作るという前向きな姿勢で取り組む方針です。



MSOG

決済系に強い貴社ですが、
今年は何か特別な
取り組みがありますか？

飯田、小松 今年はSWIFTが年次で開催するSibosが日本で初めて大阪で開催されますが、弊社では日本を含むアジア圏のSibosと捉えて出展いたします。日系企業のアジア進出も盛んであり、日系金融機関もアジア圏でトランザクションバンキングやファイナンス事業を強化しています。弊社では成長エンジンとして期待されるアジア圏でどう貢献できるかが中心テーマです。日本でのこれまでの実績、経験やノウハウを示した上で、トランザクションバンキングやアジア圏でのファイナンス・ソリューションを紹介していく予定です。

MSOG

金融イノベーション創造の
支援にも積極的ですね

飯田、小松 今年2月に金融イノベーションビジネスカンファレンス FIBC2012を開催しました。金融分野のスタートアップ・ビジネスに特化したカンファレンスとしては、日本で初めてのイベントです。金融機関は規制強化が進む中、新規ビジネスへの取り組みが難しい状況がある一方で、成長のためのイノベーションを強く求められています。米国では、ネットやモバイル等のテクノロジーを活用したベンチャーが続々出現し、大手金融機関をイノベーション面で補完しています。新興企業が金融領域でイノベーションを実現し、金融機関のサービスに組み入れられ、企業や個人が受益者となるサイクルが生まれています。日本でも、もっと金融領域のベンチャーが出てくる環境作りが必要との想いがあり、開催しました。幸いなことに好評であり、来年もオープンな場として規模を拡大し開催するつもりです。

MSOG

最後に抱負は

飯田 依然厳しい金融経済状況のもと、金融市場や金融ビジネスの発展に何が貢献できるかを常に考え、ITを活用しながらお客様のビジネスを拡大できる提案を積極的に行ってまいります。